

# 大寺・本寺

(福島県磐梯町)

- 計画期間 平成19年～23年
- 面積 150ha
- 交付対象事業費 1,287百万円
- 町人口 3,962人 (地区内人口 1,738人)

**ポイント** 慧日寺門前町の再生と会津嶺の里づくり

**地区概要** 会津仏教文化発祥の地として全国的に著名な史跡慧日寺跡の周辺環境整備と、門前町にふさわしい環境・景観づくりを進めるとともに、街路、駅前広場、交流施設など利便性確保を図る。

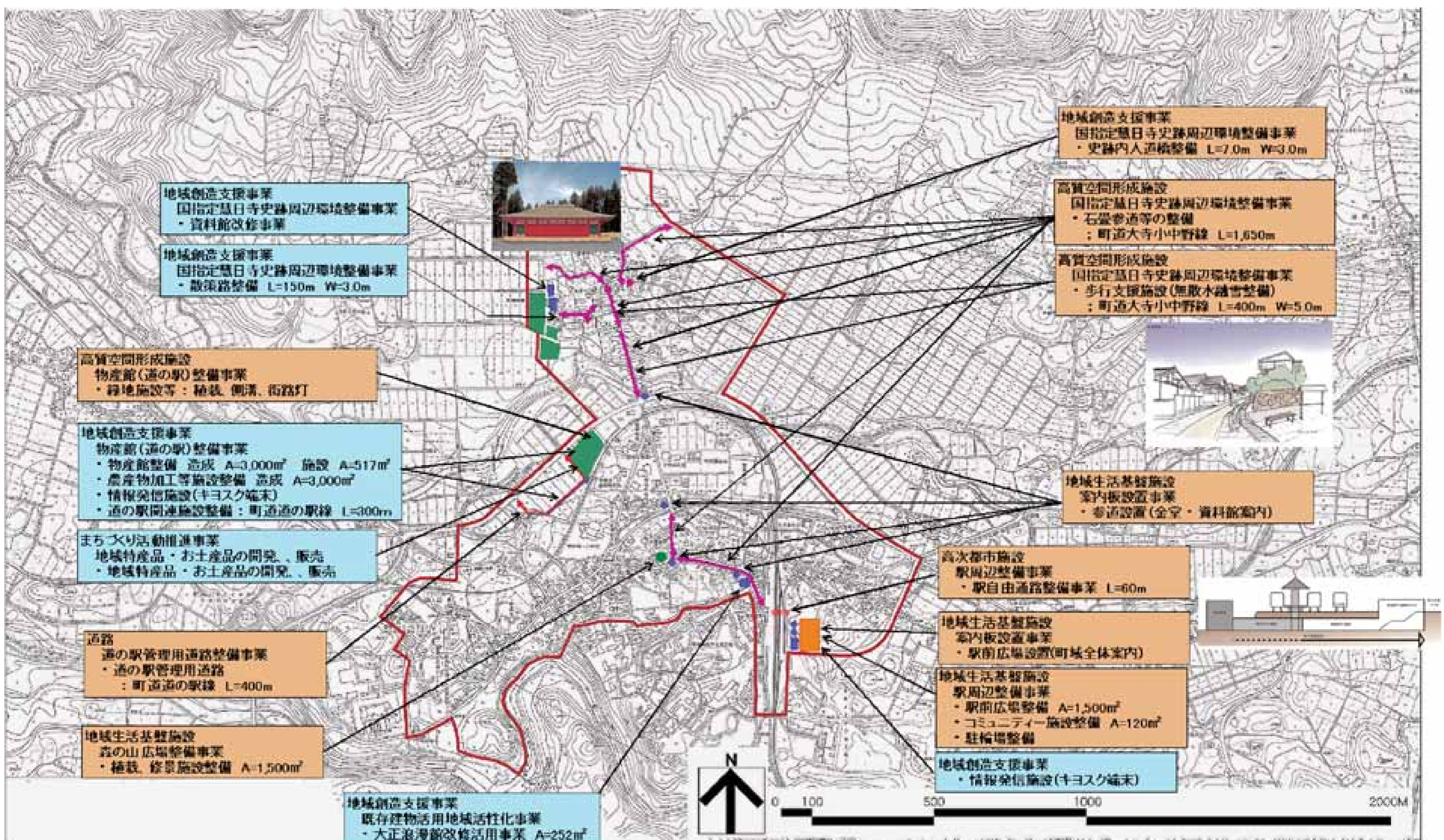
**目標** 自然と歴史・文化に触れ合い、人・もの・情報が行き交う会津嶺の里づくり

**指標** JR磐梯町は、当町の玄関口であることから、町民は基より、来訪者の利便性・快適性を高めるため、交通環境の整備を図り、その効果として乗降者数の増加と、史跡周辺環境・景観の整備による観光機会の増大と、道の駅など交流拠点の整備による交流人口の拡大を図るもので、それぞれの取り組みを進めながら、相乗効果を狙った目標の実現を目指している。

JR磐梯町駅の乗降客数(人/年)	38,555(17年度) → 40,000(23年度)
来町観光客数(人/年)	400,824(17年度) → 440,000(23年度)

**事業内容** 基幹事業(852百万円) → 道路(延長 400m)、駅前広場(1カ所 3,000 m<sup>2</sup>)、案内板設置(5箇所)、森の山公園(1カ所 1,500 m<sup>2</sup>)、石畳参道(延長 1,650m)、道の駅緑化等(1カ所)、駅自由通路(延長 60m)

提案事業(435百万円) → 既存建物活用(1カ所 252 m<sup>2</sup>)、農産物加工施設用地造成(1カ所 2,000 m<sup>2</sup>)、物産館(1棟 517 m<sup>2</sup>)、史跡内人道橋(延長 7m)、史跡内散策路(延長 150m)、資料館改修(1カ所)、道の駅関連施設(延長 300 m)、情報発信施設(2基)、地域特産品開発事業





## 地区の現況と課題

人口減少・過疎化・少子高齢化が進む中、若者の定住化、町民生活の安定化、地域経済活性化のため、門前町の形成に向けた市街地の整備は緊急の課題であり、交通環境の強化、景観づくり、自然・歴史と文化に触れ合う空間の形成などの整備が必要となっている。

## 提案事業の特徴

**史跡周辺整備**：国指定史跡慧日寺跡の周辺環境整備事業に取り組んでおり、史跡の中心をなす建造物である金堂の復元が完成し、これらの施設と連動する周辺環境の整備拡充を図り、町民や来訪者に町の誇れる歴史や文化を探访する回廊などの整備をする。

**既存建物活用**：観光客の立ち寄り拠点、交流施設として整備する。

**道の駅関連施設整備**：町の誇れる自然と歴史・文化、観光リゾートの融合を図り、人・ものが交流する情報発信基地として交流の拠点である道の駅を整備する。

**情報発信施設**：全町内を対象に光ファイバー網の整備を行っており、これを利用して情報発信施設を道の駅及び駅前広場に設置する。

**地域特産品開発事業**：町の特産品と日本名水百選に選ばれた湧水を組み合わせた地域特産品の開発を行う。

## 計画策定プロセス

**まちづくり推進協議会**：町民総参加の視点から各種団体、各階層・組織等の代表に含め公募による住民の代表により、まちづくり推進協議会を設立し、今後のまちづくり政策の柱となる「街並みの保全と整備」「道の駅の整備と運営」「観光・物産の振興」をテーマに部会毎にワークショップ等を開催し、その結果を提言書にまとめ町長に提出いただいた。今後も計画の変更等は同協議会と協議を行う。

**社会実験**：「ウォーキングツアー」町外からの参加者を募り、JR磐梯町駅から史跡慧日寺跡まで徒歩で回るツアーを開催し、外部の人の目を通して見た磐梯町の街並みや地域資源についての評価と意見を聴取し、今後のまちづくりの検討材料とした。「門前市」町内の農業生産者・商業者の方々から出店をいただき、仮設の門前市を開催し、実験結果を今後の門前町づくりや道の駅の整備・運営に反映させる。

## 磐梯町長のコメント

豊かな自然と会津仏教文化発祥の地として栄えた歴史と文化を併せ持った地域性を発展継承し、後世に伝えるとともに、磐梯町に生まれて良かった、住んで良かったと言われる「温もりと活力あるまちづくり」を基本理念に会津嶺の里づくり進めていきたい。



史跡慧日寺跡金堂



参道整備イメージ



既存建物活用イメージ



ワークショップ



門前市



## まちづくり推進協議会会長のコメント

磐梯町まちづくり推進協議会が進めてきた史跡慧日寺門前町の再現と会津嶺の里づくりを主眼とする取組みの行跡が評価され、この度部門賞を受賞することは誠に光栄の至りであります。

このことは、活動の励みとなり、これを契機に協議会も更に研鑽を積み磐梯山慧日寺の往時の豪華なたたずまいに思いをはせ、引続き門前町の再現をはじめより地域に根差したまちづくりの推進に努力をして参る所存であります。

時あたかも史跡慧日寺跡金堂が復元され、地域はもとより県内外の多くの方々の感動を呼ぶに至ったことは誠に喜びにたえません。金堂の復元は将来にわたり全国に向け、その偉容を輝き続けるとともにまちづくりの中核として大きな要素になることを心より期待をして止みません。

## 佐藤氏のコメント

会津仏教文化は平安時代の高僧徳一が当町に慧日寺を開き仏教の布教を行った事に始まる。仏教文化の発祥地として栄えた当町は自然・歴史・文化に恵まれており、豊かな観光資源として根付いている。仏教文化をベースとした“まちづくり”はあまり例を見ない価値創造であり“門前町”という街道空間を舞台にした“まちづくり”は日本の原風景の再生、地域の魅力の再確認につながり伝統文化の継承と共に町の活性化に多大な成果が得られる。それだけに地域住民が主体となり資源を活用したテーマを作り地域の相互連携した価値観を共有する事が今後の“まちづくり”の魅力ある創造に発展すると確信します。